

様式 7

アドバイス・レポート

平成 24 年 4 月 9 日

平成 24 年 1 月 24 日付けで第三者評価の実施をお申込みいただいた

(老人保健施設 ライブリィきぬかけ) 様につきましては、第三者評価結果に基づき、下記のとおりアドバイスをいたしますので、今後の事業所の運営及びサービスの提供に役立ててください。

記

<p>特に良かった点とその理由(※)</p>	<p>1) 継続的な研修・OJTの実施 (Ⅱ (1) 9)</p> <p>法人内に設置する学習指導部で法人全体での研修体系を確立し実施されていることに加え、施設独自で職員が自主的かつ必要な内容の研修に参加しやすいように研修案内掲示板を設置する環境が整っていました。</p> <p>2) 利用者・家族の希望の尊重 (Ⅲ (3) 18)</p> <p>利用者の状態や希望に合わせ、独自のグループ別ケアを長年にわたり実施されています。また、ケース会議に本人・家族を交え意見交換を行われています。入所時には医師が家族に医療処置の説明や意向を確認するなど積極的に利用者・家族の意向確認と意向を尊重したサービス提供を実施しておられます。</p>
<p>特に改善が望まれる点とその理由(※)</p>	<p>1) 労働環境への配慮 (Ⅱ (2) 11)</p> <p>労働環境に対する意識は高く、さらに良くする体制をとられています。ただ、利用者のニーズが多様化する中、その対応や記録の量の多さなど業務の量が増えていますので、職員の人数体制や健康管理がますます重要になってきます。今一度、労働環境全体の見直しをされてはいかがでしょうか。</p> <p>2) サービス提供に係る記録と情報の保護 (Ⅲ (5) 23)</p> <p>ケアプランのサービス内容を全職員が見やすい工夫をすることで、さらにサービス内容が全職員に共有しやすくなるように思われます。</p> <p>3) 評価の実施と課題の明確化 (Ⅳ (3) 38)</p> <p>利用者個人に関するサービスの評価は定期的になされています。そこで、デイケアでアンケートを活用した事業所の評価を行っておられますので、さらに入所事業へもアンケートを拡大することが望まれます。</p>

<p>具体的なアドバイス</p>	<p>1) 労働環境への配慮（Ⅱ（２）１１） 年に２回の職員個人面談など、定期的に職員と管理者が面談を行っておられます。その面談を活用し、現場の業務量や業務の見直しなど職員からヒアリングをしてみられたり、また、各部署内の会議で提案された業務内容の改善案などを事業所全体で共有し、良い改善案に事業所全体で取り組み、その成果を継続的に確認していくなどを行ってみたいかがで しょうか。</p> <p>2) サービス提供に係る記録と情報の保護（Ⅲ（５）２３） ケアプランに基づくサービス提供は、ご利用者へのサービスの向上に加え、チームケアの向上にもつながることもあると思います。ケアプランのサービス内容を全職員が共有し、実施・記録できるよう、ケアプランや記録の重要性を学ぶ研修等を行い、ケアプランへの意識向上を図られてはいかがで しょうか。</p> <p>3) 評価の実施と課題の明確化（Ⅳ（３）３８） 事業所としての自己評価に、今回受診された第三者評価のチェックシートを活用するなど、個人に対するケアの評価に加え、事業所全体としてのサービスの質の向上に向けて取り組まれてみてはいかがで しょうか。</p>
------------------	--

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントを「評価結果対比シート」に記載しています。

(様式6)

評価結果対比シート

事業所番号	2650180017
事業所名	ライブリィきぬかけ
受診メインサービス (1種類のみ)	介護老人保健施設
併せて評価を受けた サービス(複数記入可)	短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護、訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション
訪問調査実施日	平成24年2月8日
評価機関名	一般社団法人京都市老人福祉施設協議会

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I 介護サービスの基本方針と組織						
(1)組織の理念・運営方針						
	理念の周知と実践	1	組織の理念及び運営方針を明確化・周知している。また、法人の経営責任者（運営管理者含む）及び事業所のスタッフ全員が、理念及び運営方針に沿ったサービスの提供を実践している。	A	B	
	組織体制	2	経営責任者（運営管理者含む）は、公正・適切なプロセスで意志決定を行い、組織としての透明性の確保を図っている。	A	A	
	(評価機関コメント)		理念、運営方針の周知・実践は、法人としての取組みが確立されています。ただ、施設内での取組みは役責者までにとどまっておられるとお聞きいたしましたので、全職員への周知をする工夫をされてはいかがでしょうか。			
(2)計画の策定						
	事業計画等の策定	3	組織として介護サービスの向上に向けた計画を策定するとともに着実に実行している。また計画策定には多角的な視点から課題を把握している。	A	B	
	業務レベルにおける課題の設定	4	各業務レベルにおいて課題が設定され、各部門全体が課題の達成に取り組んでいる。	A	A	
	(評価機関コメント)		法人が策定する事業計画はしっかりできています。ただ、施設としての事業計画の課題を幅広く多くの職員から把握することをされてはいかがでしょうか。			
(3)管理者等の責任とリーダーシップ						
	法令遵守の取り組み	5	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組みを行っている。	A	B	
	管理者等によるリーダーシップの発揮	6	経営責任者又は運営管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業運営をリードしている。	B	B	
	管理者等による状況把握	7	経営責任者又は運営管理者は、事業の実施状況等を把握し、いつでもスタッフに対して具体的な指示を行うことができる。	A	A	
	(評価機関コメント)		今取り組んでおられる遵守すべき法令の理解をさらに役責者に広げる工夫等をされてはいかがでしょうか。			

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
II 組織の運営管理						
(1)人材の確保・育成						
		質の高い人材の確保	8	質の高い介護サービスを提供できる人材の確保のために、必要な人材や人員体制についての管理・整備を行っている。	A	A
		継続的な研修・OJTの実施	9	採用時研修・フォローアップ研修等を実施し、段階的に必要な知識や技能を身につけることができる。また業務を通じて日常的に学ぶことを推進しており、スーパービジョンを行う体制がある。	A	A
		実習生の受け入れ	10	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	A	B
		(評価機関コメント)		法人の学習教育部による研修体系が確立されており、受験対策や講習費の助成など資格取得支援が整っています。実習受入れ方針は整備されていますが、実習受入れに関わる担当者の役割分担など受入れ体制を文書化されてはいかがでしょうか。		
(2)労働環境の整備						
		労働環境への配慮	11	質の高い介護サービスを提供することができるよう、スタッフの労働環境に配慮している。	A	B
		ストレス管理	12	スタッフの業務上の悩みやストレスを解消するために、具体的な取り組みを行い業務の効率を高めている。また、スタッフが充分にくつろげ、心身を休めることができる休憩場所を確保し必要な環境を整備している。	B	B
		(評価機関コメント)		現場監督者は時間外労働に対する問題意識は高く、現場職員との定期面談でのヒアリングや改善案を準備されていますので、今後の労働環境整備を円滑に進められてはいかがでしょうか。		
(3)地域との交流						
		地域への情報公開	13	事業所の運営理念を地域に対して開示し、広報するとともに、利用者と地域との関わりを大切にしている。	A	B
		地域への貢献	14	事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		(評価機関コメント)		法人としての地域との関わりは盛んに行われています。ただ、施設としての地域との関わりの回数が少し減っていることを課題にされ、活動の準備をしてお聞きいたしましたので、地域交流を円滑に進められてはいかがでしょうか。		

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
III 適切な介護サービスの実施						
(1)情報提供						
		事業所情報等の提供	15	利用者（希望者含む）に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		(評価機関コメント)		ホームページやパンフレットでの情報提供が行われています。		
(2)利用契約						
		内容・料金の明示と説明	16	介護サービスの利用に際して必要となる内容や料金について、利用者に分かりやすく説明し同意を得ている。	A	A
		(評価機関コメント)		契約時に利用料金説明に時間をかけて説明されています。		

(3)個別状況に応じた計画策定					
アセスメントの実施	17	利用者一人ひとりの心身の状況や生活状況を踏まえうえでアセスメントを行っている。	A	A	
利用者・家族の希望尊重	18	個別援助計画等の策定及びサービスの提供内容の決定に際して、利用者及びその家族の希望を尊重している。	A	A	
専門家等に対する意見照会	19	個別援助計画等の策定に当たり、必要に応じて利用者の主治医・OT/PT・介護支援専門員・他のサービス事業所等に意見を照会している。	A	A	
個別援助計画等の見直し	20	定期的又は必要に応じて、個別援助計画等の見直しを行っている。	A	A	
(評価機関コメント)		入所時に医師から必要な医療や予後の見通しなどを説明し、本人・家族の意向を確認しサービス計画につなげられています。			
(4)関係者との連携					
多職種協働	21	利用者の主治医をはじめ、関係機関との間で、連携体制又は支援体制が確保されている。	A	A	
(評価機関コメント)		利用者の関係する機関と連携し、支援する体制を整えられています。			
(5)サービスの提供					
業務マニュアルの作成	22	事業所業務について、標準的な実施方法（業務マニュアル・手順等）が整備され、スタッフに活用されている。標準的な実施方法は自立支援につながり、事故防止や安全確保を踏まえたものになっている。	B	B	
サービス提供に係る記録と情報の保護	23	利用者の状況及びサービスの提供状況等が適切に記録されており、管理体制が確立している。	B	B	
職員間の情報共有	24	利用者の状況等に関する情報をスタッフ間で共有化している。	A	A	
利用者の家族等との情報交換	25	事業者はサービスの提供にあたって、利用者の家族との情報交換を行っている。	A	A	
(評価機関コメント)		マニュアルの見直しや記録への課題を明確にしておられましたので、実施計画の作成や仕組みづくりなど実施する体制づくりをされてはいかがでしょうか。			
(6)衛生管理					
感染症の対策及び予防	26	感染症の対策及び予防に関するマニュアルの作成等により、スタッフ全員が感染症に関する知識をもってサービスの提供を行っている。	A	B	
事業所内の衛生管理等	27	施設（事業所）内における物品等の整理・整頓及び衛生管理を行い、効率的かつ安全なサービスの提供を行っている。	B	B	
(評価機関コメント)		感染症対応を周知する学習会等は一部の職員にとどまってお聞きいたしましたので、全職員への周知する工夫をされてはいかがでしょうか。また、衛生管理の記録は委託業者と相談し、記録管理をされてはいかがでしょうか。			
(7)危機管理					
事故・緊急時等の対応	28	事故や緊急時、災害発生時等における対応等を定めたマニュアルがあり、年に1回以上、必要な研修又は訓練が行われている。	A	A	
事故の再発防止等	29	発生した事故等に係る報告書や記録を作成し、事故の再発の防止のために活用している。	A	A	
(評価機関コメント)		法人と地域で災害時に協力することなどの確認をとっておられます。			

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
IV利用者保護の観点						
(1)利用者保護						
		人権等の尊重	30	利用者本位のサービス提供及び高齢者の尊厳の保持に配慮したサービス提供を行っている。	A	A
		プライバシー等の保護	31	利用者のプライバシーや羞恥心について、常に問題意識をもってサービスの提供を行っている。	A	A
		利用者の決定方法	32	サービス利用者等の決定を公平・公正に行っている。	A	A
		(評価機関コメント)	定期的に学習会を開催し虐待防止など人権について学ぶ機会を設けられています。			
(2)意見・要望・苦情への対応						
		意見・要望・苦情の受付	33	利用者の意向（意見・要望・苦情）を広く拾い上げ、収集する仕組みが整備されている。	A	A
		意見・要望・苦情等への対応とサービスの改善	34	利用者の意向（意見・要望・苦情）に迅速に対応するとともに、サービスの向上に役立っている。	A	B
		第三者への相談機会の確保	35	公的機関等の窓口相談や苦情を訴えるための方法を、利用者及びその家族に周知している。	A	A
		(評価機関コメント)	面会時や電話で多くのご家族の意見・要望を聴き取っておられます。ただ、要望等への対応状況を公表するには至っていないとお聞きいたしましたので、公表することを検討されてはいかがでしょうか。			
(3)質の向上に係る取組						
		利用者満足度の向上の取組み	36	利用者の満足度を把握し、サービスの質の向上に役立っている。	A	B
		質の向上に対する検討体制	37	サービスの質の向上に係る検討体制を整備し、運営管理者を含む各部門の全職種のスタッフが積極的に参加している。	B	B
		評価の実施と課題の明確化	38	サービス提供状況の質の向上のため、定期的に評価を実施するとともに、評価結果に基づいて課題の明確化を図っている。	A	B
		(評価機関コメント)	デイケアで行っているアンケートを活用した事業所のサービスの質の評価を、入所事業にも活用されてはいかがでしょうか。			